

令和6年度 学校評価シート（自己評価）

安行東光幼稚園

1. 園の教育目標

幼稚園教育は教育基本法の本質にのっとり、学校教育法の示す所に基き幼児を保育し適切な環境を与えて、生きる力の基礎を育成することを目的とする。
正 周囲におこる様々な問題を考えさせ、物事を正しく理解し、判断できる力を養う。
強 自分の事は自分でやる。やってみようとする意欲と成功感を持たせながら、自信に満ちた心と、健康な身体を養う。
明 仏教的な情操を礎地として、感謝と善意に満ちた心を培い、明るく伸びやかな情緒を養う。
和 お互いに美点を見出し、讃えあい和やかに、寛大な心を養う。

2. 具体的な目標や計画

<ul style="list-style-type: none">・心身の健康教育・個性を伸ばす教育・家庭と一体となったきめ細やかな教育・発達、年齢に応じた教育 以上の事を踏まえ子ども達が主体的に活動できるように援助していく
--

3. 評価項目の取り組み及び達成状況

評価項目	結果	理由
教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	B	学年ごとに年齢に即した目標を大切にしつつ、園児の実態を踏まえ、柔軟に見直しを行い実践してきた。
子どもの実態を的確につかみ具体的な手立てを講じる。	B	子どもの姿を捉えられるように保育記録を工夫した。また、定期的な会議を通し子どもの姿を振り返り実践に繋げた。
学期ごとに各クラスの運営の成果と課題を報告する。	B	学期ごとに目標を立て、課題をみつけ園全体で共有し取り組んだ。
あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	B	あそびの充実、あそびを発展していくことで、あそびを通して学びを深められるような援助を心がけた。あそびが充実することで、友だち同士の関わりが深まっている。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	具体的な目標、計画の実現に向け、保育記録の取り方を工夫し、現状把握をした上で実践に繋がりように取り組んだ。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
自己評価	職員自己評価については引き続き学期ごとに行い、保育者として求められていることを確認し、保育の質の向上に努めていく。
安全管理	災害時に対応できるように、危機管理の徹底、訓練を実施していく。
子どもの姿、発達を捉えた適切な援助	幼児の発達について、園内研修を実施し子どもの理解を深め具体的な援助に繋げる。
運営の成果と課題の報告	職員間で成果を確認し、新たな課題に向かい取り組む。報告については現状から進展できるように努力する。